

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公表番号】特表 2002-513039 (P2002-513039A)
 【公表日】平成 14 年 5 月 8 日 (2002.5.8)
 【出願番号】特願 2000-546588 (P2000-546588)
 【国際特許分類】

A 0 1 N 25/28 (2006.01)
 A 0 1 N 25/10 (2006.01)
 A 0 1 N 59/16 (2006.01)
 A 0 1 N 59/20 (2006.01)
 C 0 9 D 5/16 (2006.01)
 C 0 9 D 201/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/28
 A 0 1 N 25/10
 A 0 1 N 59/16 A
 A 0 1 N 59/20 Z
 C 0 9 D 5/16
 C 0 9 D 201/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 4 月 18 日 (2006.4.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 徐放的に表面に抗微生物剤を送達するための抗微生物剤送達系であって、

境界を規定する エラストマーアクリレートを含むポリマー粒子であって、前記ポリマー粒子が水の存在下にあるとき、前記ポリマー粒子の境界から経時的に有効量が放出可能であるように、組み込まれた 不溶性無機抗微生物剤を含有するポリマー粒子を含み、ここで

前記ポリマー粒子は接着粘性であってもよく、および / または、少なくとも一つの空洞を有していてもよく、および / または、前記抗微生物剤は前記ポリマー粒子に組み込まれた複数の無機粒子であってもよく、および / または、前記抗微生物剤は酸化銅であってもよい、

抗微生物剤送達系。

【請求項 2】 複数の前記ポリマー粒子をコーティングした構造物をさらに含み、前記構造物がテープ、シートおよび三次元の構造物の少なくとも 1 つを含んでいてもよい、請求項 1 に記載の送達系。

【請求項 3】 ポリマー粒子が水の存在下にあるときに前記ポリマー粒子から経時的に有効量が放出可能であるように、不溶性無機抗微生物剤が結合されたエラストマーアクリレートから構成されたポリマー粒子を提供するステップと、

構造物の表面に前記ポリマー粒子を適用するステップとを含む、抗微生物剤を適用する方法。

【請求項 4】 エラストマーアクリレートから構成されるポリマー粒子を含む抗微生物

物剤送達系を製造する方法であって、

(a) 重合したエラストマーマイクロスフェア前駆体を提供するステップと、

(b) 前記重合したエラストマーマイクロスフェア前駆体と放出可能な不溶性の無機抗微生物剤またはその抗微生物剤の混合物とを配合するステップであって、前記放出可能な不溶性の無機抗微生物剤またはその抗微生物剤の混合物は、溶媒に溶解されていてもよく、前記放出可能な抗微生物剤が前記重合したエラストマーマイクロスフェア前駆体の境界部内に吸収されるステップとを含み、

(c) さらに、前記溶媒を除去するステップを含んでもよい、
方法。

【請求項5】 エラストマーアクリレートから構成されるポリマー粒子を含む抗微生物剤送達系を製造する方法であって、

(a) 少なくとも1種の懸濁液安定剤または界面活性剤を含む水相中に、少なくとも1種の油溶性モノマーと、油溶性開始剤と、放出可能な無機の抗微生物剤または前記放出可能な無機の抗微生物剤の一部とを含む油相を形成するステップと、

(b) 前記水相中で前記油相の重合を開始するステップを含み、

(c) さらに、残りの油溶性の放出可能な抗微生物剤を添加するステップを含んでもよい、
方法。